

❖ 令和5年度 白百合奨学金授与式

令和5年6月8日(木)、「白百合奨学金授与式」を実施しました。白百合奨学金は、後援会と同窓会及び学園が一体となって設立した、本学独自の奨学金制度です。本年度は20名が採用されました。

奨学生代表の学生は「多くの方々に支えられていることに深く感謝し、人々の健康を食事の面から支えることのできる管理栄養士になれるよう、日々精進して参ります」と誓いの言葉を述べました。

奨学金について
詳しくはこちら



❖ 令和5年度 学生会紹介



令和5年度の学生会役員15名が選出されました。学生会メンバーは、学生の皆さんが充実した学生生活を過ごせるよう、年間を通して様々な活動をしています。また、学科や学年を超えて交流する機会を多く企画しています。

5月のスポーツ大会はコロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの実施となり、全学生が初めての体験、そして男女共学化となって初めての開催となりました。男女ともに楽しめるような企画を試行錯誤しながら計画し、思い出に残るスポーツ大会となりました。そのほか、クリーン作戦、学生総会、大学祭など、多くの行事で大学をさらに盛り上げる活動を行っています。

❖ 入試日程

選抜区分	登録期間	面談日	出願期間	試験日
自己推薦選抜(第1期)	9月1日(金)~9月7日(木)	9月16日(土)	10月2日(月)~10月13日(金)	出願後の 独自試験はありません
自己推薦選抜(第2期)	12月1日(金)~12月7日(木)	12月16日(土)	12月20日(水)~1月5日(金)	
学校推薦選抜(公募制・指定校制)	-	-	11月1日(水)~11月9日(木)	11月16日(木)
学園内入学選抜(秋期)	-	-		
一般選抜(前期)	-	-		
共通テスト利用選抜(A日程)	-	-	1月9日(火)~1月25日(木)	2月7日(水)
学園内入学選抜(第1期)	-	-		
共通テスト利用選抜(B日程)	-	-	2月7日(水)~2月26日(月)	3月5日(火)
一般選抜(後期)	-	-		
共通テスト利用選抜(C日程)	-	-	3月6日(水)~3月13日(水)	3月19日(火)
編入学選抜(秋期)	-	-		
学園内入学選抜《編入学》(秋期)	-	-	11月1日(水)~11月9日(木)	11月16日(木)
編入学選抜(第1期)	-	-		
学園内入学選抜《編入学》(第1期)	-	-	1月9日(火)~1月25日(木)	2月7日(水)
編入学選抜(第2期)	-	-		
学園内入学選抜《編入学》(第2期)	-	-	3月6日(水)~3月13日(水)	3月19日(火)

※選抜区分によって実施する学科は異なります。

【お問合せ先】
鹿兒島純心大学 入試広報課
☎ 0996-23-5311 ✉ ml-exa@k-jundai.jp
📍 鹿兒島県薩摩川内市天辰町2365



鹿兒島純心大学・大学院 広報誌「天辰」

Amatatsu

No.35
2023

◆ 学長×学生会対談

男女共学化への思いを語る

◆ 学科・大学院トピックス

教育・心理学科

児童生徒教育コース

こども発達コース

心理・文化専攻

看護学科

健康栄養学科

大学院 人間科学研究科

◆ 就職関係情報

◆ 純大トピックス

海外留学レポート

新入生交流会

スポーツ大会

大学祭インタビュー

留学生紹介

サークル紹介

白百合奨学金授与式

学生会紹介

入試日程





男女共学化1年目!

それぞれの 思いを語る

鹿児島純心大学学長 山口明美 × 学生会長 M.K.さん × 男子学生1期生
*男子学生 教育・心理学科:H.H.さん 看護学科 K.T.さん 健康栄養学科 H.F.さん

本学は2023年4月より男女共学となり、「鹿児島純心大学」として新たにスタートしました。
そこで今回は、山口学長、学生会長、男子学生1期生の皆さんに今の思いを聞きました。

男女共学になり、大学としてより豊かに

M.K. 入学して2か月ほど経ちましたが、大学生活には慣れましたか？

H.F. まだ慣れないことが多いですが、毎日楽しく過ごしています！

学長 楽しそうにされていて何よりです。私自身も男女共学にして良かったと思うことがたくさんあります。「マイナスなことが一つもない」と日々感じています。



M.K. 普段の生活で少しは環境の変化があるかなと想像していましたが、男子学生の皆さんが大学に溶け込んでいて、普段通り過ごしています。また、先日のスポーツ大会はとても楽しかったです！

H.H. 男子学生は「左投げルール」など色々と考えられていました！スポーツ大会を通して友人との交流を深めるきっかけになりました。

M.K. 来年は男子同士の試合が見たいです！本気で楽しめるようにしたいです。

学長 男子学生が入学したことで、大学がより明るくなりましたし、意欲のある学生が多く、様々な面で大学として「豊かになった」と実感しています。これからも、夢に向かって励みながら、充実した大学生活を送ってほしいと願っています。

自然豊かなキャンパスで一人ひとりの個性を大切に

H.H. 自然豊かな点が大学の魅力だと思います。晴れた日など外に出ると気持ち良く、癒されます。

K.T. 自然はもちろん、大学の雰囲気も明るくてとても過ごしやすいですね。

M.K. 大学の魅力といえば、「先生たちとの距離の近さ」もあると思います。一人ひとりのことをしっかりとサポートしてくれる先生方がいらっしゃるの強みであり、安心です。

H.F. 私もこのサポート体制に魅力を感じて入学を決めました。県内唯一の管理栄養士養成校である点に加え、ガイダンスで話を聞いた際、先生方が学生としっかり向き合っているからこそ、国家試験合格率も高いのだと思いました。実際、質問しやすい環境が整っていると感じています。

学長 熱心な先生方が多く、それぞれの夢に向かってのサポートは魅力ですよね。

M.K. 二人の入学理由は？



H.H. 私は保育士になりたいと、地元の大学がちょうど共学になることを知り、オープンキャンパスに参加しました。雰囲気が自分に合っていると思いました！

M.K. 私も地元です！地元の学生がいて、嬉しいです。

K.T. 私は保健師になりたいと思っています。男子学生1期生初の保健師になれるよう頑張っていきたいです！



学長 皆さん、それぞれの目標に向かって充実した日々を過ごしてほしいです。そのために、全力でサポートしますね。

困ったことがあればいつでも相談を

学長 大学の魅力を話してもらいましたが、困っていることはないですか？

M.K. 私も聞きたかったです！言いたくても誰に伝えて良いかわからないと思うので教えて欲しいです！



H.H. 2か月ほど過ごしましたが、今のところ特に困っていることはありません。毎日楽しく過ごしています。

K.T. 入学前は施設面で不安がありましたが、お手洗いや更衣室等も使いやすいです！

学長 とても安心しました。またこれから過ごしてみても、何かあったらいつでも相談に来てください。M.K.さんのところにもぜひ！

M.K. いつでもどうぞ！

H.F. 学長室に気軽に伺ってもいいのですか？

学長 もちろん！いつでもお待ちしておりますので、遠慮なく来てください。

男子学生 ありがとうございます！

これからの大学生活の楽しみ

H.F. 大学祭が楽しみです。今日集まったメンバー全員、実行委員です！

M.K. そうなんですね！対面での開催は4年ぶりみんな初めてのなので、力を合わせて頑張りたいです！

学長 サークル活動は？何か入ったんですか？



H.H. フットサルの見学に行きました！友人にサッカー経験者が多く、みんな楽しんでみたいです！

K.T.&K.T. まだ検討中です！

学長 やりたいことがあれば立ち上げてもいいですし、とにかく大学生活を楽しんでいただきたいです。

M.K. 今後は学生会の活動にも興味を持って欲しいです！

教育・心理学科

児童生徒教育コース

子どもに寄り添える 教師を目指して ～教師のやりがいを 強く実感した教育実習～

教育・心理学科 4年 K.Y.さん

小学校での教育実習では、一日一日に明確な目標を持って臨み、子どもたちと信頼関係を築くことを大切にしました。実際に子どもたちとコミュニケーションをとることで、学年に応じた指導の在り方や授業の雰囲気づくりを学び、授業実践では子どもたちと一緒に学び合いながら楽しい授業を展開することができました。

今回の教育実習を通して、「教師になりたい」という気持ちを改めて確信しました。授業準備では大変なことも多く、教師の忙しさを実感しましたが、それ以上に子どもたちの「分かった!」「できた!」という素直な反応やキラキラした姿は、授業を行う上での自信や授業改善へのモチベーション向上に繋がり、達成感を得ることができました。また、教師のやりがいを強く実感しました。

日々の子どもの成長に対する喜びは教師という職業にしか味わえないと思います。私も子どもの気持ちに寄り添いながら、日々の成長を子どもたちと共に喜び合う教師を目指していきたいです。



クラスメイトを児童役に楽しく模擬授業を実施

こども発達コース

私の目指す保育者像を 考えることができた 幼稚園実習

教育・心理学科 3年 M.S.さん

初めての幼稚園実習は不安や戸惑いもありましたが、実習前に日誌や指導案の書き方を指導いただいたほか、実際に幼稚園の現場で働いている園長先生や先生方に実習に向けて参考になる話をいただきました。そのため実習ではあまり緊張せず、楽しく取り組むことができました。

実習では各年齢のクラスに入り、同じ学年でも担任の先生によってクラスの特徴が異なること、また子どもたちの特性を活かした保育・教育を行っていることを学びました。私がピアノを弾いたり、エプロンシアターや指遊びをしたりしたときに、子どもたちが楽しんで参加してくれる様子を見て、大変嬉しく思いました。

実習中に子どもたちとうまく関われるか不安でしたが、子どもたちはすぐに私の名前を覚えてくれて、見かけたら元気よく名前を呼んでくれました。また、実習園では「チーム教育」を掲げており、英語教室やプレスクールで初等部の講師を呼ぶなど、とても力を入れていて、素晴らしいと思いました。

実践しないと学ぶことができない体験を多くさせていただき、自分の目指す幼稚園教諭の姿を考えることのできた実習でした。



実習で多くのことを学びました

心理・文化専攻

留学生歓迎会での交流

教育・心理学科 2年 Y.W.さん

令和5年前期は、交換留学生として7名が本学に在籍しています。教育・心理学科では留学生と交流を深めるために、歓迎会を行いました。1・2年生と先生方が参加し、とても楽しく賑やかな会になりました。

「イントロドン」や「ワードワulf」などのゲームで交流しました。初めは緊張しながら話をする様子が見られましたが、ゲームなどを通して打ち解けていく姿を見て、さらにこのような機会を増やしていきたいと思いました。そして、これからも留学生の皆さんとたくさん話して、仲を深めていきたいです。



養護教諭フィールドワーク

● 教員の声 (柳園 順子 准教授)

学校インターンシップを終えた人は、養護教諭フィールドワークに参加することができます。薩摩川内市内の小・中学校の保健室で、こどもたちと触れ合ったり、養護教諭のお手伝いをしたりしながら、養護教諭の仕事を実際に体験します。

● 履修者の声 (3年生養護教諭選択者R.O.さん)

私は、看護師の国家試験受験資格に加え、養護教諭1種免許状を4年間で取得できることに魅力を感じ、本学に入学しました。

昨年、養護教諭フィールドワークに参加し、実際に養護教諭の仕事の一部を体験させていただきました。児童・生徒等を心身両面から支える保健室の重要性を学ぶことができ、私が目指したい保健室経営の在り方が明確になりました。

今年度は後期に半年間の看護実習があるため、十分に準備を行うとともに、教員採用試験の問題にも前期から取り組むなど、夢の実現に向けて努力していきたいです。



養護実習Ⅰ履修者の様子(4年次)

助産診断・技術学演習Ⅰ

● 教員の声 (新福 絵里香 助教)

『助産診断・技術学演習Ⅰ』は、分娩助産技術の基礎を学ぶ科目です。実際のお産に近い場面を作り上げながら反復練習し、技術を体得していきます。

● 履修者の声 (4年生助産選択者K.U.さん)

県内唯一の助産師課程を4年間で学ぶことができる大学であり、またアットホームな雰囲気や学ぶ環境が整っている点に魅力を感じ、入学しました。

現在、学びの真っ最中である助産診断・技術学演習Ⅰでは、安全に分娩助産を行うことを目標に、分娩助産の一連の流れを学んでいます。出産は何が起るのか予測できないものであり、どんな場面にも迅速に対応できるよう、そして自ら考え行動する力を身に付けるために模索の日々です。

妊産婦・家族に寄り添い、心のこもった温かいケアを提供できる助産師を目指し、今後も努力していきたいと思っています。



実践演習を繰り返します

心理臨床相談センター

鹿児島純心大学大学院の附属機関として併設されている心理臨床相談センターは、本学大学院の心理臨床を専門とする教員(臨床心理士、公認心理師)とその指導を受けている大学院生を中心に運営されています。全国でも有数の充実した機能を持つプレイルームや相談室など22室を備え、自分自身のことや対人関係、家族関係、こどもの発達などさまざまな相談について、来談される皆様と一緒に考えていく場所となっています。

当センターは、地域に開かれた相談機関を目指しております。小さなお子さまから大人まで、お困りごとやお悩みなど、お気軽にご相談ください。

申込電話番号:0996-23-5385(直通)

申込受付時間:毎週月～金曜 12時30分～17時

※相談は全て予約制となっております。まずは、お電話でお申し込みください。後日、担当の者から面接日時等の予約に関するお電話を差し上げます。



就職支援の取り組み

令和4年度就職活動を振り返って

教員の現役採用者が大幅に増加

ここ数年にわたるコロナ禍が落ち着きを見せ、人材を求める各業界は、人口減少による人材獲得競争が激しくなり、学生優位の売り手市場になってきています。そのような中で、本学の令和4年度就職状況の大きな特徴は、人間教育学部 教育・心理学科となり初めての就職者を輩出したことです。

結果としてはそれぞれの専攻・コースの専門性を生かした進路先に進んでおり、学部改革の効果が見られています。特に教員採用は昨年度から現役採用者が大幅に増加し、また本学大学院への進学者も昨年度から増加しました。

なお、幼稚園、保育園、児童養護施設や一般企業等については、例年同様、県内中心に就職しています。



また、看護学科、健康栄養学科につきましても看護師、保健師、助産師、管理栄養士等、高い専門性を生かして令和4年度も高い就職率を維持しています。



男子学生の就職見通しについて

最後に、今年度から男女共学になるにあたり、男子学生の就職見通しについて触れておきます。

特に保育園やこども園、病院、自治体等においては既に男性の保育士・保育教諭、看護師、保健師、管理栄養士等での就職実績もあります。女性が多い職場ではありますが、男性を積極的に採用したいという現場の声もあります。

今後は職場訪問等や実習施設訪問等で周知を図り、これからの就職活動に向けて準備を進めて参ります。

「おいしい給食」を経営管理の視点から考える

健康栄養学科 寺師 美里 講師

管理栄養士の活躍の場は、医療施設、介護・福祉施設、行政、企業など多岐にわたります。その中で「給食提供の現場」である厨房も管理栄養士が活躍をする場所の一つです。厨房では食事を提供する対象者の栄養管理だけでなく、限られた予算や人員、機器類を駆使し、効率よく時間内に特定多数の食事をどのように生産するか、という経営管理の考え方が必要です。つまり、管理栄養士が栄養管理した献立を具現化(食事として生産)する厨房の管理も管理栄養士の仕事の一つだと考えています。

現在、卒業研究のゼミ生と「おいしい給食」を栄養管理の面だけでなく、経営管理の視点から考える研究を行っています。物価高騰の中で、食材料費の年次推移から傾向を把握し、お財布にも優しい給食の検討と、厨房で調理に関わる人たちが効率よく、働きやすい環境を作ることが求められる中で、誰が作っても、いつもと変わらないおいしい給食を提供するためにはどのような手順やマニュアルが必要かを検討しています。

これらを通じて、栄養管理された食事はもちろんのこと、厨房で調理に関わるお金や携わる人たち、環境も含めた「おいしい給食」の提案について考えていきたいと思っています。



❖ 令和4年度卒業生の就職・進学状況

全体就職率 **99.2%**

教育・心理学科	看護学科	健康栄養学科
就職率 100%	就職率 100%	就職率 97.9%
<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校教諭 ● 中学校教諭(英語) ● 特別支援学校教諭 ● ミスミ ● 今別府産業 ● 光陽福祉会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大根占幼稚園 ● 青山幼稚園 ● 与論町役場(保育士) 〈進学〉 ● 鹿児島純心大学大学院 	<ul style="list-style-type: none"> ● 養護教諭 ● 鹿兒島大学病院 ● 鹿兒島市立病院 ● 昭和大学病院 ● 東京慈恵会医科大学病院 ● 鹿兒島県市町村(保健師) ● 米盛病院 ● のぼり病院(助産師) ● 平野エンゼルクリニック(助産師) 他
		<ul style="list-style-type: none"> ● 栄養教諭、高校教諭(家庭) ● 指宿市(管理栄養士) ● 鹿兒島厚生連病院 ● 相良病院 ● 今村総合病院 ● 川内医師会立市民病院 他

海外留学レポート



本学では、オーストラリアで約4週間、ホームステイをしながら、現地の大学で英語を学ぶ留学プログラムがあります。今回は参加した教育・心理学科4年生 S.U.さんにお話を伺いました。

一留学中はどのようなことを学びましたか？

ホストファミリーの名前「Peter Fleming」と発音するとき、「Fleming」のLの発音を指摘されました。「R」と「L」の発音が違う。舌の位置を変えて発音しないと、間違えて伝わることがある」とアドバイスがありました。私はこれまで英語の発音を学んできましたが、ネイティブとは程遠いものでした。それからは、一つひとつの単語は基本的に忠実に発音しなければいけないと、気を付けるようにしました。たった1か月の留学でしたが、意識付けすることで発音を矯正することができました。

一留学中、印象に残っているエピソードは？

当初、ホストファミリーとのコミュニケーションが上手く取れずに、部屋に籠っていました。留学経験のある友人に相談すると、「話せなくてもいいから、部屋に籠らず、リビングにいとる良い。そうすれば自然に言葉も覚えられるよ」とアドバイスしてもらい、リビングで過ごすようにしました。うまく話せなくてもジェスチャーを使い、笑顔で話すと、自然とコミュニケーションが取れるようになりました。



ホストファミリーや友人と楽しく過ごしました

また、毎日、庭で子どもたちと日が暮れるまで遊びました。不安と緊張で過ごした一週目でしたが、優しいホストファミリーのお陰でいつの間にか本当の家族のように過ごすことができました。

一留学を通して感じたこと・成長したこと・これからの目標を教えてください。

コロナ禍で海外に留学できるなんて、夢のようでした。両親をはじめ、周りの人たちの協力に感謝しています。日本と違う習慣や規則の中での戸惑いも多少ありましたが、居心地の良さを感じました。また、発音の指摘をされてから、現地の人々の発音を思い出して、英語の授業では気を付けるようになりました。

この短期留学を通して、「また行ってみたい」「英語が上手になりたい」と強く思いました。私は教員を目指して純心大学を選びましたが、在学中に「海外インターンシップ」という制度でまたオーストラリアに行きたいと考えています。海外での経験や、経験を通して学んだことを伝えられる教員を目指します。

大学祭インタビュー

White Lily Festival

つながる新純大～Step into the next stage～

令和4年10月29日(土)、大学祭をオンラインで開催しました。男女共学化に向けて、伝統を受け継ぎつつ、本学の新たなステージに繋がるような一日になるように、との願いを込め、実行委員・学生会を中心に思い出に残る大学祭を創り上げました。

また、今年度は令和5年10月21日(土)・22日(日)に、4年ぶりに対面での開催を予定しています。

今回は、昨年度の実行委員長 Y.I.さんと今年度の実行委員長 M.K.さんに話を聞きました。

● 教育・心理学科 Y.I.さん

一大学祭実行委員長を務めた感想は？

私は今まで実行委員長のような役職の経験がなかったため、今回初めて実行委員長を務めて、多くの人をまとめる力が付いたように思います。



また、目標に向かって計画立てて物事を見ることができるようになったと感じます。学科・学年の異なる委員をまとめたり、大学祭までの日程を逆算して準備計画を立てたりすることは大変でしたが、自分自身の大きな自信に繋がりました。将来に役立つ経験ができたと思います。

一後輩へのメッセージ

今年の大学祭は4年ぶりの対面開催で、男女共学になって初の大学祭でもあります。大学祭実行委員も経験したことがないものを一から創るということで大変なことも多いとは思いますが、全学生にとって初めてだからこそ、自由に今までにない最高の大学祭を実現できるのではないかと思います。男女関係なく、全ての学生が輝ける大学祭になることを祈っています。また、この大学祭を機に、多くの高校生が純大に行きたいと思ってもらえたらと思います。

● 教育・心理学科 M.K.さん

一「鹿児島純心大学」として初めての大学祭ですが、どのような大学祭にしたいですか？

今年は前年度までの大学祭の良さを引き継ぎつつ、「鹿児島純心大学」として新しい風を吹かせることができるような大学祭にしていきたいです。私自身、対面での大学祭というものを見るのも行うのも初めてで、分からないことだらけですが、先輩方が残してくださった記録や先生方のご指導の元、準備を進めています。コロナウイルスの影響で行事が少なかった皆さんの大学生活を変えられるチャンスだと思っています。華やかで楽しく、濃く、思い出に残るような大学祭にできるよう、実行委員一丸となって頑張っていきます。先生方や学生の皆さんと一緒に、大学全体で素敵なものを創り上げていきたいです！

学生広報サポーター「PRing」*が作成した
昨年度の大学祭動画もぜひご覧ください！



*「PRing」は、学生の立場や視点で本学の広報活動を行っています。

新入生交流会

5月13日(土)に、「新入生交流会」を開催しました。新入生は大学生活が始まって約1ヶ月。様々な不安や悩みを持つ新入生のために、毎年、上級生が企画・運営し、実施しています。

学生生活や日々の勉強方法、実習、サークル、勉強とアルバイトとの両立方法など、学生の視点から多くのアドバイスがありました。また、レクリエーションを通して、友人・上級生・教職員と交流を深める機会となったようです。



4年ぶりにスポーツ大会を実施

5月2日(火)、学生会主催によるスポーツ大会を開催しました。4年ぶりの開催となり、運営の学生会メンバーも含め、全学生にとって初めての行事となりました。学科ごとでの開催となりましたが、各学科大いに盛り上がり、思い出の1ページになったようです。



留学生紹介

令和5年度前期は台湾からの留学生7名が本学で学んでいます。交換留学制度があり、本学からも台湾への留学ができます。留学生は、本学で日本語などを中心に学ぶほか、地域の行事にも参加しています。6月には薩摩川内市内の神社で五穀豊穡を祈願する「御田植祭」が行われ、本学からも4年ぶりに4名が参加しました。神社での奉納や田植えなど、日本独自の文化を体験する機会となりました。また、留学生からは普段の生活について、「純心大学は先生方や学生が優しく接してくれて、とても学びやすい環境」「日本の食材で台湾料理を作るのが楽しい」「一人暮らしやアルバイトも楽しい。夏には京都や大阪に旅行に行く予定があり楽しみ」などの声があり、充実した様子が伺えました。



サークル紹介 フットサル部

現在、フットサル部は4年生4人、1年生1人の計5人で活動しています。練習にはOGの皆さんや地域の女子サッカークラブの選手にも参加していただき、多くの方との交流があります。練習だけでなく、試合や地域のイベント等にも参加しています。

今年は新しく男子学生が入部し、練習にもたくさんの学生が体験に来ています。

サークル活動を通じて、新しい一歩を踏み出した鹿児島純心大学をより一層盛り上げていけるよう、部員一同、邁進していきます。

